

東葛まいにち 9月25日

かかりつけ薬局の知っ得情報 『塗り薬と飲み薬の飲み合わせ』 ②1

塗り薬には、軟膏、水剤、ゲル剤など色々なものがあり、尋麻疹が出たとき、傷つけたとき、虫に刺されたとき、打撲した時などに一番身近なお薬だと思います。

皆さんのイメージでは注射剤や、飲み薬と比べて副作用が少なくて使いやすいイメージではないでしょうか。

しかし塗り薬の中にも全身的な副作用のあるものがあり、自分勝手に使うと起きてしまう副作用もあります。軟膏だけではなく外用剤についても同様です。定められた用法、用量を守り使用してください。

ここでは塗り薬だけでなく、外用剤ということでお話いたします。内服薬と外用剤で成分は違っていても同じ働きをするものがあります。そしてそれを一緒に使うことで、より良い効果を発揮する事もあります。

貼り、痛み止めと解熱剤の二種類の薬を飲み、坐薬も使うことで、体温を下げすぎてしまったのです。大人の方は体温を調節する機能がしっかりしているのですが、お子さんは薬に対して敏感なので、より注意が必要です。

もしこの方がお薬手帳をしっかりと管理し、かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師をお持ちでしたら防げたかもしれません。

このように薬剤師は副作用を未然に防いだり、相互作用や重複服薬を考えた時、皆さんの健康を守るため日々努力しています。

担当薬剤師 斎藤英祐
問い合わせ 047・360・3600 一般社団法人松戸市薬剤師会



健康サポート薬局
まり松戸薬局
松戸1329大橋ビル1F
☎047・308・7971